

## 校外学習事前学習資料 大野中学校

2年 氏名 \_\_\_\_\_

「もぐらんぴあ」は、岩手県久慈市が建設した「久慈地下水族科学館」と日本地下石油備蓄株式会社が建設した「石油文化ホール」による複合施設で、三陸海岸の久慈湾北岸にある。東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に伴う津波で被災して営業休止となったが、場所を移し「もぐらんぴあ まちなか水族館」として再開した。その後、2016年に元の場所で営業を再開した。

### 「久慈地下水族科学館もぐらんぴあ」について

久慈地下水族科学館は、日本で唯一の地下水族館で、約200種類2,000匹程度の魚介類が展示されていた。トンネル水槽では頭上を魚が泳ぎ、地中であって海中にいるような体験ができた。2011年3月11日の東日本大震災で被災して以降、臨時休業中であったが、市内久地駅前の空き店舗を利用し「もぐらんぴあ まちなか水族館」として仮営業していた。その後、2016年に再開した。

2011年（平成23年）5月、国の緊急雇用創出事業を活用して「もぐらんぴあ」を移転・再開することが決定し、市中心部にある空き店舗だった旧中村家具店（久慈市中央2-9）の1階を改装して同年8月5日に「もぐらんぴあ まちなか水族館」として開館した。山形県鶴岡市立加茂水族館からクラゲ4種30点、東京都サンシャイン水族館からは大型水槽、毎年夏に「もぐらんぴあ」でトークショーを行ってきたさかなクンからは自身のコレクションの魚やイラストなどが贈られるなど、様々な支援を受けた。2013年3月、さかなクンからフグなど約100匹が寄贈された。もぐらんぴあ移転後、まちなか水族館として使用された同施設には「あまちゃんハウス」が移転された。

### 「石油文化ホール」について

石油文化ホールは発破体験スペースや石油インフォメーションシアターがあった。2011年（平成23年）3月11日の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）での被災以降休業している。2016年に水族館同様再開。シアターは管理棟2階に移動した。

原油は、タンカーで運ばれてくるので、地下の石油タンクは海のそばで花こう岩などち密で強固な岩盤があるところにある。日本には、岩手県久慈、愛媛県菊間、鹿児島県串木町の3ヶ所あり、いずれも海底より深いところにある。地下にタンクがあるので、景観を損なわないし地震にも強い。また、油の流出や火災の恐れもなく、掘削した岩石の活用も図ることができる。